

生きた漢字を全身全霊で表現しよう！

優秀賞



新潟県 書家篆刻作家 柳澤 魁秀氏

この度は大変素晴らしい賞を賜り、誠に光栄に存じます。白川静博士の「字統」「字訓」そして、「字通」の3部作は私の書家・篆刻作家として30年の歩みの中で、書学、創作活動の中で欠くことのできない聖典でありました。漢字の魅力、何より「生きた漢字」を教育現場に届けたいと言う思いで、今回受賞した教育プログラムを13年間提供して参りました。この活動を高く評価していただき、深く感謝申し上げます。これを励みとし、この賞に恥じぬよう勉学と実践を続けていく所存であります。

概要

書家篆刻作家として国内外で活躍する傍ら、新潟県内各地の学校において、「漢字の魅力伝える授業」と、「巨大書体験による表現活動の指導」を行い、漢字を通して「生き方を学ぶ授業」を展開している。年間40校以上の学校で指導を行い、その数は13年間で延べ390校、1万3千人にも及んでいる。



実践内容

(1) 漢字の魅力伝える授業

漢字に対する興味、関心を高める授業を行う。太平洋戦争における原稿消失を乗り越え、30年かけて「大漢和辞典」を編纂した諸橋轍次の偉業を紹介。さらに白川文字学を基にした漢字の成り立ち指導を行い、漢字の奥深さやおもしろさを伝えている。新潟県において殆ど取り上げられることのない諸橋轍次や白川静の偉業を、授業を通して県内各地で紹介することにより、児童生徒のみならず教職員への周知も図っている。

(2) 「自分が最も大切にしている漢字」を選ぶ活動

次に巨大書に書き表したい「自分が最も大切にしている漢字」を2週間かけて考え抜かせる。子どもたちは、多くの漢字や熟語の中からたった一つを選び抜く過程で、自分自身を見つめ直し家族や友達への思いを新たにする。



(3) 巨大書体験による表現活動の指導



選んだ「自分が最も大切にしている漢字」を1m50cmの大きな筆を使い、縦2m50cm 横1m10cmの大きな紙に全身を使って書く。たとえ失敗してもやり直しの利かない緊張の一発勝負を体験することにより、自分で決断し乗り越えていくことの大切さに気付かせる。また協力して取り組むことにより、友達と支え合うことの大切さ感謝の気持ちをもつことの大切さにも気付かせていく。